

5月8日始動 役場新庁舎

災害に強く、休日も
楽しめる4階建ての庁舎

令和3年3月から建設工事を進めてきた、役場新庁舎が完成しました。

完成した新庁舎は①災害に強く安全安心の拠点となる施設、②人に優しく町民に親しまれる施設、③効率的で将来の変化に対応できる施設、④経済性に優れた環境に配慮した施設、⑤周辺の環境と調和した施設という5つの基本理念を掲げて整備。特に、熊本地震からの経験と教訓を踏まえ、地盤と建物を切り離すことで大地震の際も揺れを建物に伝わりにくくする

「免震構造」を採用する他、非常用発電機や貯水機能付給水管など、災害によるインフラ供給停止時も3日間の機能維持が可能な設備を整え、災害対策本部としての機能を強化しています。

また、屋上には太陽光発電設備を設置し、照明設備の一部は自然エネルギーを利用するなど省エネに努めています。

1階は、東側の入り口から建物に入ってすぐ目に入る場所に総合案内を配置する他、窓口利用が多い課を集約し、表示を色分けするなど、迷わず適切に案内できるよう、利用者の利便性に配慮したつくりになっています。町教育委員会(学校教育課・生涯学習課)も



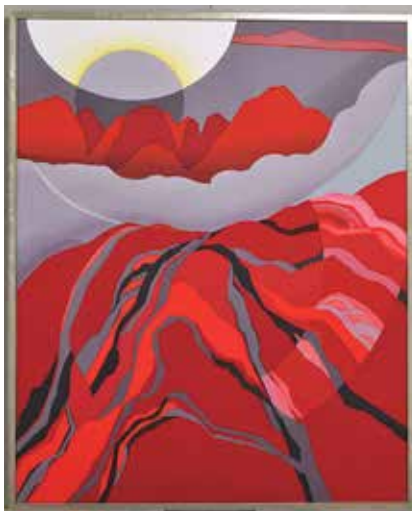
①(株)アミカテラ提供の記念カップ
②(株)湖池屋提供のポテトチップス



交流情報センターミナテラスから移転します。ロビーには、本紙3ページ「益城のがまだしもん」で紹介した高津明美さんの「阿蘇煌然」、ミナテラスから移設した岡寄遥佳さん(安永2町内)の「まだ夢の中」を展示しています。

2階は、町長室のほか、事業系の部署を中心に配置。床や壁、吹き抜け部分に町有林・県産木材を活用した、木のぬくもりを感じるフロアです。

3階の町議会が行われる議場は、車いすの人や親子も気軽に傍聴できる傍聴席を配置。議場内も木をふんだんに使用し、自然光を取り入れることで明るく開放感のある空間になっています。さらに、議場前は利用者がくつろげる



写真上段左から / 高津明美さんから寄贈された「阿蘇煌然」/ 岡寄遥佳さんから寄贈された「まだ夢の中」 / 岡寄さん / 庁舎屋上の太陽光パネル / 揺れを直接建物に伝えない免震装置
写真下段 / 1階に集約した窓口